

本校児童数
男子399名
女子389名
合計788名
クラス数29クラス
平成24年7月1日
現在



みやまえ

編集発行
宮前小学校育友会
TEL424-4474
印刷所
(株)南海美術印刷
和歌山市新中島104-5
TEL 471-5034

6/5 (火) たの しゃかいけんがく ねん 楽しかった社会見学 (5年)



五年生は神戸の朝日新聞社、ポートタワー、海洋博物館、カワサキワールド、震災メモリアルパークに行ってきました。

今日は、ふつうに読んでいた朝日新聞のことで色々なことを知りました。

最初は、最初の話とビデオでは、聞いたりメモをとったり忙しかったです。夕刊の新聞がない地域があるのはびっくりしました。社員が六千人もいて、その人数が仕事をしてくるくらい新聞社の仕事が大変なんだなあと思いました。

真夜中も仕事をしていたり、外国まで取材をしたり、一時間で二十万の新聞を刷るのがすごいなあと思いました。そして、色と水のバランスがよくない、



今年度、育友会長を務めていただきまず東と申します。平素は、育友会活動にご支援ご協力賜り厚くお礼申し上げます。



子どもの未来のために

育友会会長 東 陽

ですが、『子どものために活動する』のが育友会と考えます。

たとえば、夏祭りは喜んでもらうため、学校はもちろんだが、宮前地区の各種団体からもお力添えいただいています。最近出席した防災会や安全パトロール隊の会議では、本当に活発な意見が飛び交い、時には意見がぶつかり、私も圧倒されるほどの議論をしています。なぜそこまでするのか？答えは簡単です。宮前地区の子どもたちのことを考えて

くださっているからです。先日ある研修に参加し、東京、福島、岡山の三つの小・中学校の取り組みを聞いてきました。各校とも問題行動や不登校、校内暴力の嵐が吹き荒れ、学力レベルも長年低レベルで停滞していましたが、現在では問題行動等が半減、学力も高レベルへ推移しているそうです。それは、「学校が変われば

地域や家庭が変わる。家庭が変われば子どもが変わる。子どもが変われば学校が変わる。」という信念のもと、幼稚園・小学校・中学校が連携し、それを保護者と地域住民が後押しする体制を確立したからなのです。さあ、保護者の皆さん、次はあなたの番です。子どもの未来のために一歩踏み出してみませんか？

6/18 6/11

プールそうじ プール開き (6年)

この日は、梅雨の晴れ間の絶好のプールそうじ日和でした。

子ども達も最初のうちは「うわー。きたない。」「ドロでヌルヌルして足がすべる。」とみんな口々に言っていました。

が、タワシとデッキブラシを手に、ピカピカになっていくプールを見て、とても気持ちよさそうにしていきました。

六年生のみなさん、本当にご苦労さまでした。

